

各位

リックス株式会社

「リックス協創センター」建設決定のお知らせ

～次の軸となる新製品開発を推進～

国内外の産業界を下支えする“メーカー商社”リックス株式会社(本社:福岡市博多区山王1丁目15番15号、代表取締役社長執行役員:安井卓以下、当社)は、新製品の研究・開発を目的とする「リックス協創センター」の建設を決定しましたのでお知らせします。

※協創…当社は様々なパートナーと協力しながらものごとやソリューションをつくり上げていくことを重要視しており、そのことを“協創”と表現しています。



リックス協創センター イメージ図

【リックス協創センターの概要】

名称	リックス協創センター (英語名称: RIX Cooperative Creation Center)
所在地	福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原字貝田1847番他1筆
建築面積	1055㎡ (延床面積: 3,802㎡)
構造	地上4階建 鉄骨造 (一部鉄筋コンクリート造)
施設用途	流体制御技術を軸とした新製品の研究・開発
着手	2023年3月1日
完成	2024年6月末(予定) ※引渡し後、随時稼働
投資額	約19億5千万円(当社として過去最高の投資額)
環境・省エネ対策	Nearly ZEB (ニアリー・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

【建物内部について】

1階	組立室
2階	実験室、計測室、クリーンルーム、ドライルーム、倉庫
3階	技術開発室、デジタル設計室
4階	研究会議室、応接室、カフェテリア、屋上広場

【同センター開設の目的・背景】

当社は、世界中のものづくりの課題を解決する“メーカー商社”です。メーカー分野では、福岡県に自社工場を持ち、ロータリージョイント（回転継手）や洗浄装置などの製品を製造しています。これらの製品は、同工場の敷地内にある「技術開発センター」にて開発業務を行ってきました。

特に、既存製品（ロータリージョイントや洗浄装置）に対する改良や新機能の付加などは着実に実施し、ラインナップ等を充実させてきました。しかしながら、次の柱となる新しい製品・商品・サービスの開発は、既存製品の開発業務が忙しくなればなるほど、後回しにされるという状況にありました。

そこで、既存製品にとらわれず、当社にとって次の柱となる新製品・新商品・新サービスを開発するため、リックス協創センターの開設を決定しました。また、その開設地については、既存製品を開発している場所（福岡事業所）から離れた場所に置き、新製品・新商品・新サービスの開発を進めやすい環境を整えます。

当社が中長期経営計画で目標に掲げている「オリジナル品比率の向上」を達成するため、リックス協創センターでは、流体制御技術を核とした新製品・新商品・新サービスの開発を推進し、世界中の産業界の顧客課題解決や、SDGsの達成に寄与していきます。

リックス協創センター設立により、当社内での開発の役割は以下のように分けます。

■ 技術開発センター(1991年開設) ■ (生産本部主導)

- ・ 既存製品について顧客ニーズの変化に対応するための開発
- ・ 既存製品の付加価値アップやその周辺に関する商品・製品・サービスの開発

■ リックス協創センター ■ (NB 開発本部主導)

- ・ 既存製品にとらわれない、顧客課題・社会課題の解決のための商品・製品・サービスの開発

【同センター名称の由来（代表取締役社長執行役員 安井卓 コメント）】

中長期経営計画 LV2030、GP2023 に挙げている象徴的なキーワードである“協創”の推進のための開発（新技術開発・新製品開発・新商品開発・新サービス開発）が行える場にしたいと考えております。

既存事業における開発業務（深化）と、既存事業の枠からはみ出す開発業務（探索）のうち、特に探索に特化

した開発をリックス協創センターが担います。当社や当社グループだけでなく、お客様や仕入先、ベンチャー企業、大学、国の研究機関などと協力して製品・商品・サービスを創造してゆくことで、社会課題の解決につながるソリューションを生み出していきます。

リックス協創センターで生まれた製品・商品・サービスは、オリジナル品として世界に羽ばたいて、当社グループの次なる成長の原動力にします。また、常に新しい可能性を探るべく、継続的に探索型の開発ができる協創の拠点にしていきます。

【同センターにおける Nearly ZEB の採用について】

地球温暖化対策のため、当社は温室効果ガス(CO₂)排出量の削減目標として、2050年度におけるCO₂排出量(Scope1及びScope2排出量)について、カーボンニュートラルの達成を目指すことを宣言しました。

エネルギー消費量の削減を実現する建物「ZEB(Net Zero Energy Building)」の普及は、カーボンニュートラルの実現に向けて世界的に求められており、この度、当社が建設する「リックス協創センター」は、Nearly ZEB(省エネ50%以上+創エネ25%程度で75%以上の削減)を目指し、従来の建物で必要なエネルギー消費量75%以上の削減を実現いたします。

【同センターに採用する具体的な省エネ・創エネ対応】

■省エネ■

Low-E 複層ガラス、高効率ビル用マルチエアコン、CO₂ センサー付き全熱交換器、DC モーターブラシレスモーター搭載換気扇、LED 照明、照明のセンサー制御、トッランナー変圧器、エコボイド(換気塔)、ヒートポンプ給油機

■創エネ■

屋上での太陽光発電

【当社について】

当社は、鉄鋼、自動車、電子・半導体、ゴム・タイヤ、工作機械、環境、紙パルプ、高機能材、食品業界向けに、産業機械や部品・サービスを提供しているメーカー商社です。「メーカー商社」と「顧客密着営業」の2つのビジネスモデルを事業の柱とし、お客様の求めるソリューションをスピーディーに提供していくことで、課題解決のパートナーとなれるように邁進しております。

企業名：リックス株式会社

本社所在地：福岡県福岡市博多区山王1丁目15番15号

創業：1907年(明治40年)10月

代表者：代表取締役社長執行役員 安井 卓

証券コード：7525(東証プライム / 福証 上場)

コーポレートサイト：<https://www.rix.co.jp/>